

事業名	災害医療対策費			調査番号	37
細事業名	災害用救急医療セット保守・管理費	財務コード	433404		
担当部課室	福祉保健 部	医務 課	医療整備 担当 (内線)	3428	

## I 事業の概要

実施期間	始期	H 年度	～	終期	年度
実施主体					
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして			結果、何に結びつけるのか
	災害時に地区医療救護対策本部となる保健所	傷病者の応急処置等に用いる医薬品等が整備されている。			災害時に適切な医療救護活動を実施する
内容	災害時救急医療セットの保守管理(更新、滅菌)を実施する。				

## II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度
活動指標	目標		1式		1式		1式	
	実績(見込)		1式		1式		1式	
	達成率		100.0		100.0		100.0	
	達成区分		b		b			
成果指標	目標							
	実績(見込)							
	達成率							
	達成区分							
決算(予算) 単位:千円			6,786		9,828		9,456	

## III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	評価	使用期限に応じた定期的な更新、医療器具等の必要な滅菌が実施されている。
成果指標	b		災害医療体制の確保について定量的な指標による評価は困難であるが、必要な保守管理が実施されている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

## IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	必要な保守管理を定期的実施することにより成果向上は可能と考えられる。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ( )		
その他	説明	県関与の必要性及び成果向上の余地があり、医務課が一括して調達しており効率的な事業執行が行われている。		
見直しの必要性	無	県関与の必要性及び成果向上の余地があり、医務課が一括して調達しており効率的な事業執行が行われている。		

## V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。